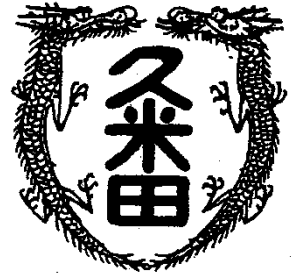


校長室から



学校教育目標

「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

～いつも自主的に考える人材の育成～

令和6年1月9日第90号

令和6年度3学期始業式

本来であれば、「あけましておめでとうございます」と始めるのが、3学期の始業式の定番なのですが、お正月から能登半島で起きた地震で被害が拡大している最中です。また、二日の夕方には、羽田空港で飛行機事故。奇跡の救出劇といわれるなか、被災地に向かう自衛官が亡くなっています。

式の最初にお悔やみ申し上げます。

さて、よく「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われます。あっという間に4月になっているという意味ですが、私の長い間経験からも、本当にそうだなと感じます。

「4月」と聞くと何を思い浮かべますか。

ちょっとロク々に言ってみてください。

桜、入学式、新入生、新しい先生、暖かい、など色々出たと思います。

では、「4月になったときの自分自身」を想像してみてください。

3年生は、もうこの久米田中学校にはいません。

1年生2年生も今の校舎には入れません。

目の前には新しくなった制服を着た1年生がウロウロしているのだと思います。

「4月になったときの自分自身」をしっかり思い描いて、高速のように過ぎ去る3学期を有意義なものにしてください。

3年生は、まだまだ久米田中学生。

最後のその一瞬まで久米田中学校を満喫してください。

12年生は、この一年間をまとめる時間でもあります。また、明日のチャレンジテスト、全力以上のものを出し切ってください。期待しています。